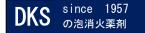
合成界面活性剤泡消火薬剤



スパークルフォームEF(耐寒型) #PFOS

スパークルフォームEFは、固体可燃物および石油類火災用の合成界面活性剤泡消火薬剤として国家検定規格「泡消火薬剤の技術上の規格を定める省令(自治省令第26号:昭和50年12月9日)」に適合し、型式承認されております。

明	細	商品名	スパークルフォーム EF		
型		式	合成界面活性剤泡3%(−10℃~+30℃)		
型	式	番号	泡第22~ 1号		
使	用温	度 範 囲	-10℃~+30℃		
使	用	濃度	3%		

特長

- 1. 炭化水素系界面活性剤を主成分としてつくられた泡消火薬剤で、たん白泡消火薬剤と異なり、低発泡(6倍以上)から高発泡(500倍以上)まで、多様な消火泡を発生することができます。
- 2. 泡の流動展開が早く、速やかに燃焼面を被覆できるので、流出油火災等の初期消火に優れた効果を発揮します。
- 3. 高湿潤性があり、ぬれ水として木材火災やタイヤ火災等にも有効です。
- 4. 使用水質を選びません。(淡水・海水または硬水に対して有効にご使用になれます。)
- 5. 経年変化が少なく、安心して使用できます。
- 6. 鋼、黄銅及びアルミニウムに対して著しい腐食性を有しません。

性状(実測値の一例)

	試	験	項	B	規	格		スパークル	フォーム EF	
外	外 観				淡黄色透明液					
比	重 (20℃)		1. 00~1. 20		1. 040					
					200以下/-10℃		76. 5			
粘		度 cS		St (=mm²/s)	/20℃		15. 5			
					/30℃		10. 5			
水	水素イオン濃度 (20℃)			(20℃)	6. 0~8. 5		7. 30			
沈	殿	殿 量 (容量%)			0. 1以下		痕 跡			
泡	水溶液	淡 水 (容量%)		0. 2以下		痕 跡				
の	沈殿量	合成海水		(容量%)	0. 2以下		痕 跡			
31	火	火 点 (℃)			60以上		なし(沸点約100)			
流	流 動 点 (℃)			(\mathbb{C})	-12. 5以下		-12. 5			
鋼等の腐食による重量損失 (鋼、黄銅、アルミニウム)					3 (mg/20cm²) /day 以下		3. 0以下			
水	水質				淡水・合成海水		淡水		合成海水	
	膨	膨張率((倍)	6	以上	10. 5		10. 1	
低	25%	5%還元時間 (分:秒)		(分:秒)	1	以上	10:55		11:35	
発泡性能	消火	以 時 間 (分:秒		(分:秒)	5	以内	1:25		1:38	
	密	封 性		着火、継続燃焼しないこと.		良 好		良 好		
	耐 :	火 性		(cm²)	900以下		O (15 秒後自然消火)		O (15 秒後自然消火)	
高発泡性能	膨	張 率	<u> </u>	(倍)	500以上		606		615	
	25%	%還元時間 (分:秒)		3以上		11:4	45	12:10		
能	消火	時間	時間 (分:秒) 3以内		以内	0:35 0:45				
		_		EM M	1	おおとウょうかんに	4 84 74 14	少人然 0 0 E		

「泡消火薬剤の技術上の規格を定める省令に基づく。(自治省令第26号:昭和50年12月9日)」

合成界面活性剤泡消火薬剤

スパークルフォーム EF (耐寒型)

- ◎天然系界面活性剤を主原料とし、PFOSや重金属等の有害物質を含有せず、生分解性に優れ、いつまでも資源環境に残留し難い泡消火薬剤です。
- ◎成分に特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(平成 11 年法律第 86 号) 又は労働安全衛生法(昭和 47 年法律第 57 号)に該当する物質を含有しておりません。
- ◎泡(水溶液)は表面張力が低く、燃焼物への浸透作用に優れています。
- ◎スパークルフォームEFは、低い濃度で使用しても十分な効果を発揮します。
 - 1) 一般建築物火災(クラスA火災)に使用する場合は、0.1~1.0%濃度で混合してください。
 - 2) CAFS [圧縮空気泡消火システム] に使用する場合は、0.3~2.0%濃度で混合してください。

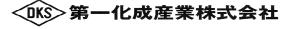
取扱い上の注意事項

- 1. 高温環境下では薬剤の劣化が促進されます。使用温度範囲内で貯蔵してください。
- 2. 型式の異なる薬剤との混合は避けてください。
- 3. 貯蔵の際は水および異物の混合はしないでください。
- 4. 貯蔵の際はみだりに開栓しないでください。密閉し、緊急火災時に対応できる状態で貯蔵してください。
- 5. 皮膚に付着した時、目に入った時は水で洗い流してください。
- 6. 泡水溶液および不要になった泡消火薬剤は産業廃棄物として処理してください。
- 7. 定期的に性能検査を実施し、泡消火薬剤の性能を確認してください。

容器

- 1. 20Lポリエチレン缶(JIS Z 1706 相当品)
- 2. 20 OL 鋼製ドラム缶(高密度ポリエチレン容器内装) (JIS Z 1601)
- 3. 1,000L コンテナー
- 4. タンク受検(5,000 以上)タンクローリー車
 - ●お求め、お問い合わせは

DKS Since 1957 の泡消火薬剤



http://www.d-Kasei.co.jp

川越工場: 〒350-1165 埼玉県川越市南台1丁目6番地4

エアーフォーム事業部 営業部

TEL 049 (242) 7785 FAX 049 (244) 2934 (本カタログの内容はお断りなく変更する場合がありますので、ご了承下さい。)